建設企業ガイダンス及び建設業お試し体験会の広報及び運営業務

公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和８年 11 月 19 日　13 時 15 分から 15 時 30 分
2	場　　所	Web（Zoom）
3	出席委員	土木建築局建設産業課長（代理出席） 土木建築局　技術企画課　技術管理担当監 総務局　広報課長（代理出席） 商工労働局　雇用労働政策課長（代理出席） 土木建築局土木建築総務課長
4	議　　題	建設企業ガイダンス及び建設業お試し体験会の広報及び運営業務委託予定者の選定
5	担当部署	土木建築局　建設産業課
6	開催方法	1　参集（オンライン開催） 2　持ち回り
7	議事内容	提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得たＣ社（株式会社広島ホームテレビ）を最優秀提案者として決定した。 1　審査対象者 Ｂ社　ヒューマンアカデミー株式会社 Ｃ社　株式会社広島ホームテレビ Ｄ社　株式会社中国新聞社 2　審査結果 （1）審査対象者の評価値 別紙のとおり

		（2）提案者ごとの主な評価・選定理由 【B社　ヒューマンアカデミー株式会社】 ・ターゲットへアプローチするチャネルは具体的だが、リーチ後の行動変容までの設計に疑問があった。 ・ブースツアーにより、複数企業の効率的な情報収集をサポートする工夫がされている。 ・独自提案等において、他社が勝る印象。 【C社　株式会社広島ホームテレビ】 ・類似業務の経験からターゲットへの具体的なアプローチ方法を計画しており、集客に期待が持てる。 ・アナウンサーによるステージプログラムなど、ブースを訪れるまでの雰囲気づくりが評価できる。また、ブース訪問サポートカードにより効果的に各参加者の疑問解消を図ることができる。 ・設営等のスケジュールの具体性が高く、音響にも配慮したレイアウトを工夫するなど、円滑な運営が見込める ・アフターイベント、事後のテレビ放送、動画配信などの実施により、保護者等のイベント当日に参加できなかった人まで含めて広く業界の理解促進を図る積極的な広報展開が提案されている。 【D社　株式会社中国新聞社】 ・集客目標値に向けて広いターゲット設定を行う広報計画について、実現可能性に疑問があった。 ・教員への事前レクチャーや現地エスコートにより、満足度の向上に期待できる。また、進路選択に影響を持つ教員の理解促進が図られている。 ・レイアウト、スケジュールとも必要な配慮が細部まで行き届いている。 ・コンシェルジュの採用や、県内大学への各担当者からの働きかけなど、独自の工夫が見られる。